

不二阿祖山太神宮 御朱印帳について

初穂料 10,000円



不二阿祖山太神宮の太神宮司朱印が押印された御朱印帳には、地元の織物メーカー**宮下織物**さんのシルクの織生地が施されています。

織生地を提供していただきました宮下織物株式会社は、富士山麓に広がる原生林の中(山梨県富士吉田市新屋)に本社を構え、恵まれた自然環境の恩恵を受けて発達した、独自の織物技術を継承・発展させる、富士吉田産地のファブリックメーカーです。

紀元前、秦の始皇帝の時代に、中国より伝来したといわれている絹織物の文化ですが、時代を経て南蛮貿易でもたらされた絹を元に、甲斐絹が作られ、江戸時代になると郡内織物産地の名前は全国に知られるようになり、明治時代に入り生産は最盛期を迎えます。それを継承し、今も世界へ発信していっしょにやいます。

デザイナーの方が、「私達のおじいさん、おばあさん達がここで生活していた頃、富士山に降った雨や雪の湧き水で染めているんです」とお話してくださいました。

このご朱印帳に使用されている織生地は、**約3000年前より伝わる太古の織物技術**で作られています。それを作られていた、たった一人のおばあさんはお亡くなりになられ、この秘術が受け継がれず、織生地は**限りのある希少なもの**になりました。

このように、伝統文化を継承する方々の故郷を想う心が込められた貴重な御朱印帳でございます。